

アプリケーション実行環境 – システム構成

2020年1月

日本電気株式会社



システム構成

サーバ集中型形態

クライアントで WS-EML（アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版付属）を起動しサーバへ接続して、サーバ上で、COBOL85 Pro で作成したプログラムやバッチファイルを実行する形態です。

アプリケーション実行環境の製品構成

- サーバ： アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 アクセスライセンス※
 ※アプリケーション実行環境配下のプリンタと WS-EML が計 5 台以内の場合は不要
- クライアント： アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版付属の WS-EML をクライアントに導入して利用（アプリケーション実行環境 Ver9.0 クライアント版は不要）

クライアント/サーバ型形態

WS-EML は利用せず、それぞれのクライアントで COBOL85 Pro で作成したプログラムやバッチファイルを実行する形態です。

アプリケーション実行環境の製品構成

- サーバ： アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 アクセスライセンス※
 ※アプリケーション実行環境配下のプリンタが 5 台以内の場合は不要
- クライアント： アプリケーション実行環境 Ver9.0 クライアント版
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 クライアント版 1 ユーザライセンスパック※
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 クライアント版 5 ユーザライセンスパック※
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 クライアント版 20 ユーザライセンスパック※
 ※クライアントが 2 台以上の場合に必要

ホスト連携オンライン印字機能（プリンタ機能のみ）

オンラインプリントステーション、ネットワークマネージャと連携し、ホストから Express5800 配下のプリンタ装置へのオンライン印刷を行うことが可能です。

従来、ホスト-Sモデルでオンライン印字を行っているシステムで、Sモデルから Express5800へ移行を行う場合、既存のプリンタ資産、あるいは、ホストの印字アプリケーションが移行でき、オープンプラットフォームへの移行が可能となります。

アプリケーション実行環境の製品構成

サーバ： アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 アクセスライセンス※
 ※アプリケーション実行環境配下のプリンタが5台以内の場合は不要

リモートデスクトップサービス利用形態

リモートデスクトップサービスを利用したシステムを構築することができます。各クライアントにアプリケーション実行環境をインストールする必要がありません（クライアント直結プリンタの障害通知機能を使用する場合は、クライアントにアプリケーション実行環境プリンタドライバをインストールする必要があります）。WS-EMLがリモートデスクトップサービス(ターミナルサービス)上で動作している場合、WS-EML接続プリンタ、ステーション対応プリンタは使用できません。

アプリケーション実行環境の製品構成（WS-EMLを利用しない場合）

サーバ： アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 アクセスライセンス※
 ※アプリケーション実行環境配下のプリンタが5台以内の場合は不要

クライアント： アプリケーション実行環境 Ver9.0 クライアント版※
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 クライアント版 1ユーザライセンスパック※
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 クライアント版 5ユーザライセンスパック※
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 クライアント版 20ユーザライセンスパック※
 ※リモートデスクトップ接続するクライアント数分のライセンスが必要（クライアントへのインストールは不要）

アプリケーション実行環境の製品構成（WS-EMLを利用する場合）

サーバ： アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版
 アプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 アクセスライセンス※
 ※アプリケーション実行環境配下のプリンタとWS-EMLが計5台以内の場合は不要

プリンタ接続形態

アプリケーション実行環境では、以下のプリンタ接続形態をサポートしています。

接続形態	必須製品
サーバ直結 ^{※4}	サーバにアプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版
WS-EML 接続	サーバにアプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 クライアントにアプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版付 属 WS-EML
クライアント直結	クライアントにアプリケーション実行環境 Ver9.0 クライ アント版 ^{※1 ※3}
B4680 プリンタ接続ボード	サーバに B4680 プロ他接続ボード支援ソフトウェアとアプリ ケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版
B4680 プリンタ接続装置	サーバにアプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 ^{※2}
B4680/SIF プロトコル変換装置	サーバにアプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 ^{※2}
LAN アダプタ/LAN ボード (PC 型番) ※Windows 標準スプーラ (従来変換)	サーバにアプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 ^{※2}
クライアント直結 ※Windows 標準スプーラ (従来変換)	サーバにアプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版 ^{※2}
クライアント直結	クライアントにアプリケーション実行環境 Ver9.0 クライ アント版 ^{※1}

- ※1 サーバ経由印字を行う場合、サーバにアプリケーション実行環境 Ver9.0 サーバ版が必要
- ※2 クライアント配下で利用する場合、クライアントにアプリケーション実行環境 Ver9.0 クライ
アント版が必要
- ※3 リモートデスクトップ接続でジョブ管理機能やプリンタ機能を利用するライセンスとして必要(ク
ライアントへのインストールは不要。ただし、クライアント直結プリンタ (障害通知機能) を使用
する場合は製品添付のアプリケーション実行環境プリンタドライバのインストールが必要
- ※4 サーバ直結 (サーバの平行ポート接続) 形態は、Windows Server 2012 ではサポートしてい
ません

なお、アプリケーション実行環境では、上記に加え、PrintBridge/ KSP プリンタ支援ソフトウェア/拡張ネッ
トワークプリンタサービスキット/LCP プリンタ支援ソフトウェア/LL プリンタ支援ソフトウェア/ B4680
プリンタ接続ボード支援ソフトウェアと連携したプリンタ接続形態もサポートします。